

活力あるコミュニティの形成 (奈良市大宮まつり)

平成 29 年 8 月 24 日
大宮まつり実行委員会
電子自治体アドバイザークラブ
多田充朗（記）

1. 概要

大宮地域の住民は、多くの地域活動に参加して、協働して活性化に取り組んでいる。その一つが、『大宮まつり』である。今年は、28 回目の祭りである。

奈良市の大宮地区には、所帯数 6000、人口 12000 人が生活し、西に 1300 年の歴史のある「平城旧跡」、東に東大寺や旧奈良市街地域が隣接し、JR 奈良駅と近鉄新大宮駅の間に位置している。その中心に奈良市役所が位置して、大阪市や京都市への通勤にも適した地域である。最近、奈良市も人口減少に転じ、高齢化も進行している中で、この地区の人口は増加を続けている。

地域の住民、商店、企業、NPO 団体等が参加し、子供からシニアまで約 4000 人が参加する真夏の地域の中核的・一大イベントである。



『大宮まつり』のゲート



盆おどりのやぐらと来場者

2. 第 28 回『大宮まつり』

平成 29 年度テーマ：『未来へ、世代をつなぐ、第一歩』

『大宮まつり』は、地域住民と地域に集う人々が協力して、夏のひとときにふれあいの輪を広げ、地域福祉の増進につながる催しとして毎年開催している。

- 主催：大宮地区社会福祉協議会
- 運営：大宮まつり実行委員会
- 出店者数：38 団体
- 開催日時：平成 29 年 7 月 29 日（土）15:00～21:00
- 開催場所：奈良市立大宮小学校グラウンド



会場周辺に『大宮まつり』ののぼり

(1) 草の根活動「みんなで守るスマホの約束」

我々（e-AAC）は、非常にユニークな取組みとして、38の出し物のうちの1つに、「みんなで守るスマホの約束」啓発活動に取り組んでいる。多くの子供達は親や祖父母、友達と一緒に来場する。この機会に、「スマホに関する5つの約束」のチラシを説明し、“約束を守る”と約束した子供には人気の景品を渡す。子どもによって、守れない項目があった場合、その理由を聞きながら、トラブルの事例を説明して守るように説得する。「スマホとモラル」について聞いてほしい人に出会える絶好の草の根活動である。スマホのトラブルについて、親子や友達グループに注意を喚起して、正しい使い方を訴える効果がある。今年は、約320組の来訪者に啓発活動を行った。最近、低学年の親子連れが増えている。平成26年度から実施し、今年は4年目になるが、スマホのトラブルも年々低年齢化している。



（2）地域力の向上

子供からシニアまで協働して地域の絆を深める。子供は、出店者の手伝いをし、大人と交流し、子供の規範意識や社会性の形成に有効である。また、ICTの急速な進展により、SNSと地域社会の関係が深まり、地域文化活動団体の情報発信力を高める。ネット時代の子供は、世代間の交流を通じてモラルを学ぶ。社会の変化や地域の教育力に関する様々な知見を持ちより「地域力」を再生・創生する。『大宮まつり』はその役割を担っている。

スマホの5つの約束

<p>スマホ・ケータイ 安全・安心に楽しむために！</p>
<p>スマホのプレーキをかけよう</p>
<p>ネット掲示板：書きこみません</p>
<p>写真・動画：載せません</p>
<p>SNS（LINE Twitter・・・）： “自分よし” “相手よし” “まわりよし”</p>
<p>ネット：知り合った人に会いません！</p>
<p>眼を守ろう：よる9時スマホやめ</p>
<p>【発行】：NPO法人 電子自治体アドバイザークラブ</p>



「みんなで守るスマホの約束」の啓発活動